京城日報
十一日夕刊

革新最後の聯合會
合同覺書を承認す
議員廿八名中參加者は廿名
新政友會は百四十名

【東京電報】革新俱樂部では政友會との合同問題に付、最後的決定をなすため十日午後一時本部に代議士、前代議士、評議員、地方支部代表者の聯合會を開き犬養、古島兩氏より合同問題の經過に付き報告あり合同組と非合同組との間に俱樂部の名稱に附隨事があつたが結局多數をもつて三派合同覺書を承認に決した而して所屬議員廿八名中合同參加者十八名、殘留者八名、態度決定を留保せるもの二名で殘留者は關、尾崎、清瀬、田崎、井上、林田、寺永の各氏態度決定を留保せる者は服部、高橋兩氏以下全部參加者である。服部、高橋兩氏は結局參加するに至るべく革新二十名、中正俱樂部の參加確實のものは十名、參加したき意嚮のもの十三名あり政友會の百八名と共に（無所屬一名加はると見て）總計百四十名前後の見込みである

普選の運用上 合同は已むを得ぬ
犬養氏の演説要旨

【東京電報】犬養氏の革新俱樂部聯合會に於ける演説要旨左の如し

本日は革新俱樂部に最も重大なる合同問題に付協議を希ふのである、余が熟慮茲に至りたるは普選に對する責任上已むを得ぬと信じたからである、今後余等の最も重大とするは普選法の運用である、而して若し無產階級が此の運用を誤らば、上は皇室に對し下は國民に對して余等は其の責を逃れ得ぬのである普選に依り無產階級代表者が現はれたが何ほ少數なるを以つて猶は依然舊勢力に支配されやう、而して之の頑迷なる過渡期に當り余等の合同に依り新興の一大政黨は新生面を開き健全なる發達を遂げるであらう、困難なる現實に際し徒らに歷史に捉はれてはならぬ余は切に諸君の勇猛心を望む、

あるまいが今後本黨援助の中間內閣組織はあるかも知れないが本黨は五十回會にも貴族院の一部と依賴したが藤子との提携が成立すれば次期議會では一層の波瀾が起るだらうと言つてゐるものもあると

交友派 本黨と關係深き交友俱樂部は後藤子と本黨の提携に依り本黨の道の開けるのは好ましいとするも電光石火的方向轉換をやる藤子について行くことは相當考慮を要するであらうと云つてゐる

合同を承認す
政友會總會

【東京電報】政友會議員總會は十日午後一時より本部に開會、岡崎總務より皇室の御慶典に付挨拶をなし兩陛下及攝政殿下の萬歲を三唱した後、總會の議事に入り三派合同覺書を滿場一致承認した

藤子と本黨の提携を危む
上院側の觀測

【東京電報】後藤子と床次氏の提携は貴族院方面にも少からず注意を喚起してゐるが各派の觀る處は左の如くである

研究會 田中男の政友會入りは犬養氏の革新が合同ならんとする今日豫て政界に野心あり且つ政黨的立脚地を求めつゝある後藤子と本黨の提携は當然であるが舊勢力の後藤子と穩健主義の床次氏と何處まで一致し得るかは疑問であるが其の步調が一致せば確かに政界の大勢力となるであらう

公正派 後藤子と關係の某氏は語る藤子は本黨に入る事は

十日分が半日で
記念繪葉書の素晴しい賣行

【東京電報】銀婚式をお祝ひする爲めに遞信省が十日から賣出した記念切手記念繪葉書は素晴らしい賣れ行きで各郵便局とも朝早くから黑山の人だかりで押合ひ揉合ひで

井上準之助氏
清津にて語る

【清津電報】井上準之助氏一行は九日午後六時官民多數の出迎へを受け清津に着し七時より清津に於ける官民歡迎會に臨み一場の講演を試み同夜一泊十一日午前十一時會寧に向ふ會寧一泊一日羅南、龍井一泊十三日清津に引返し十四日の連絡船にて進出の豫定であるが井上氏は語る「朝鮮を觀察して先づ第一に感じたことは土地の廣漠たることで農民に細耕小作農を見ず殆ど自作農であるとは誠に喜ばしい自分は日本の經濟狀態を立直すには食糧問題を解決せねばならぬと信じ朝鮮視察も主としてこの方面を觀察する爲である滿洲經濟問題と聯繫的に東京で聞き或ろ反對したものだが實地を見てなるほどこれでは其の必要を認めた實に朝鮮殊に北鮮は氣に入つた」と

ヴィアプル氏 組閣聲明
自由黨閣員を總て更迭

【ブラッセル十日發電】ヴァンドヴィアプル氏はエーベルト陛下の委囑を拜受し白耳義內閣組織を聲明し同時に閣員中に現在のカトリック黨閣員を殘すも自由黨閣員は總て之を更迭せしむる旨を發表し尙氏は外相を兼務するであらう

朝鮮でも使ひたい 電話の自動交換
滿洲及北支那を視察して 近藤遞信局事務官語る

今回滿洲北支那地方へ出張を命ぜられた自分の調査事項の一としては、大連及哈爾濱に於ける電話自動交換の運用成績及其事務經營の狀況を調ることであつたが、兩地共に豫期以上の好成績を舉げて居る電話加入者は簡易にして迅速なる交換接續に依つて非常な便利を感じてゐる。殊に哈爾濱の如きは二千餘名の加入者に對して電話局員は局長以下事務取扱ひ者が僅に十人使用するのみで、一人の交換手を要せず交換機の故障を生ずることも極めて少く全加入者中一日僅々二三件を見るに過ぎぬのである朝鮮に於ても將來理想としては自動交換に進むべきものであらう北滿に於ける日露支間國際郵便連絡の狀況に付ても今回調査を遂ぐると共に朝鮮關係の業務上に付て打合を爲した。目下露領との途が開かれて居る。歐洲及西比利亞地方に發送する通常郵便物は西比利亞鐵道の運轉の關係に依り滿洲里モスコー間一週三回の連絡運送あるに過ぎぬが、其の發著郵便物は每回增加して日露間通信關係を漸次濃厚ならしめて居ることは喜ぶべき現象である。又小包の運送に付ては日露間細目協定の未濟の關係から未だ開始せられぬが東支鐵道の郵便物運送に付ては支那側に於て相當の地位を占め得て居り、文書小包郵便運送の秩序が能く保たれ郵便運送の圓滑なるに見ても將來滯りなく遞送せらるることを豫想せられるのである最近日本行政の撤退後に於ける靑島の在留邦人は目下一萬五千に減じて居るが在留民の唯一の通信機關である佐世保靑島間海底電線は電信事務の一切は支那局の管理に移り電線通信の運用のみを日本側に於て管理して居るのであるが、爾來和文電報受の途が全く杜絕したので邦人の不便殊に新聞通信等の受けた打擊は想像の外である最近の靑島に於ける紡績工場罷業事件の通信の如きも種々なる方法に依つて內地への報導に努力して居た樣であるが、最近同地に本邦側で建設した無線電信も既に支那側に引渡され同政府の管理の下に運用せられて居るが佐世保靑島間海底線不通の場合には京城無線局との交信が最も敏速であるので、屢々起る右の不通に備ふる爲め目下支那電信局員及日本電報局員七名を選拔して京城無線局との通信の練習を始めて居るから當方にても豫め之に應ずる準備を爲すことにしたい。尙日支間の郵便電信連絡の狀況は各地共概ね圓滑に行はれて居る

陣容を立直す 本黨の苦肉策
更に大木伯等六人組との握手交渉を開始す

【東京電報】政友本黨は後藤子との提携に次ぎ大木、水野、鈴木、河村、佐竹氏等の六人組と交渉を開始した。此の六人組が政友本黨との盟約と政治上の利害を分離する爲に默入するや否や疑問とする所も由來本黨は中堅幹部級の人材を缺ぎたために常に遊説を自繕し得る在野黨としての陣立に缺ぐる所を以て黨內に不滿の聲多く結束に缺陷を生したが、此の六人組との提携は大いに研究會を補足し黨內の人心を安心せしめ、且中正派の同志が政友會に走るを消極的に止め得たものと見られてゐる

期米の先行
何れに轉んでもあまり期待はできない

今週の期米成行きを見るに正米の賣行き良行と株式綿糸高の刺戟を受け週初大阪大關門拔けの四十圓三十錢を入れて已川も又三十七圓〇四錢と前週末に比し二十八丁高新甫生値に比し百丁方の暴騰を演じたが

季節柄 持久性に乏しく忽ち頭打ちの光景となり翌五日は群山筋の賣物と利喰ひに壓せられ七圓臺割れの七八十錢に喰込み七日は雨待ちの潤雨に更に五十錢奮に挫け週末大阪四十圓割れの不勞七十錢高を氣迷ひ的に終つたが此持合分岐果して何れ近く發表の筈なる獲矜米の如何によつて多少の動揺がある所の事情から推し其の響は上値に大でも下値に小であらうと思はれるが此に新期材料の乏しき折柄數字の多寡に非常の間隔なき限り之れとて一時的の人氣作用に止まるべく今後の問題は正米の出廻りと成行如何にあるが農家一般に本年の

作柄 を見定めざれば容易に將來を手放さずと云ふされば商分は買物がスレに推移すべく殊に期限と云へば天災期の米にて然かも凶作況である丈に一期何かの彈材はれんか直に上値に走り易い資は持て居るが然し昨年當時に比し四五百十の上値を維持し乍ら日歸は遠慮なく買整されるかも財界四圍の事情は依然不安定であり其れに梅雨季を控へ節高は不景氣や代用食による食延しの力も大であるから此邊何かの突發材料のなき限り此儘の足踏ならばれず此處の吸收補給關係でもなれば寧ろ一杯下値が先に出るかも知れない更に角問題の期近も季節と採算上季來の忌避にて

戰線 を先限に延長せらるゝ傾きもあり月內一杯は其れに轉んでも餘り大なる期待は抱れない樣である

朝鮮及滿洲社
社長直轄經營

朝鮮及滿洲社は昨春以來社長釋尾氏東上中藤村忠助氏が副社長として經營の任に當り居りしが今回藤村氏一身上の都合で退社せし爲め社長直轄となりしに由なり、尙ほ社屋は從來の長谷川町の社屋にして釋尾氏は當方社屋內に住む由なり

長野縣人會

長野縣人會來る十六日午後五時より本町江戶川支店に開催し組規其他の協議をなす由出席者は旭町一ノ七三朝鮮土木協會小山寧八郎氏宛申込まれたし會費金二圓

恐懼と感激に終始した 側近奉侍の昔語り
畏き天賦の御稟性
本社長 副島道正伯謹話

東上陛下の御皇太子時代御幼時側近に奉侍した本社長副島伯の御德の光榮ある談話は更に昔年の陛下の御日常を具に物語つて天賦の御稟性は寧ろ拜するだに畏い極みである

それやこれやで私はその頃から非常に健康を害しましたが御醫は御前で激務を受けとのことでありましたけれどもそれは餘り恐懼に堪へませぬから一たん御所を下つて靜養は受けたのでありました。それからの數ケ月を轉地靜養に過さねばならなかつた私は命により宮の下、沼津と轉々しながら專ら靜養を友としたのであります。

陛下の御講學心

病漸く癒えてその頃から數年たつての後でありますが私は學習院やや早稻田大學に教鞭を取る事となりました。ところが或日の事、私がいつもの通り學習院へ參り教鞭を掛ると恰も其時陛下が御通りになるではありませぬか。どうしたかと思ふと之は後で分つたことでありますが學習院は其日突然皇太子殿下の行啓を仰いだのであつて、今しも御參觀が濟んで[illegible]へ御入らせになる所だつたのです。すると逸早くも私を御目に止められて『副島は何時からか』とのおたづねであります。私は『これ〱でございます』と受持の者が側を申し上げますと『けふはベルギー公使に謁見を授くる日でこのまゝ歸るが副島の講義を聽く能はざるを遺憾とする由』の御言葉がありました。とかくして私どもは夫々受持の教場に引上げたのでしたが此時のことです、意外も意外、本當に意外なことには工藤一記といふ幹事が慌たゞしく私の教場に駈け込んでまゐりまして『殿下が御立ち返らせであります、是非あなたの講義振りを見たいと仰せられる』と告げるのではありませぬか。流石に時機ばかりは事の意外に驚かされたことでありました。間もなく陛下は私の教室へ御入らせであります。そうして御聽講でありました。それが普通二分とか三分とかいふ短い時間であるのを此時は約三十分も熱心に御耳を傾けさせたまふたには恐懼とも感激ともたとへやうのない心持ちでありました。その時の私はイギリスの民主議論を說いて居たのでありますが丁度その日の午後謁見賜上のため御前に伺候いたしますと陛下には『副島の說いた所は頗る面白い、余も其書物を取り寄せて侍講に講ぜさせたいと思ふから著者の名を知らせるやうに』との仰せで如何に御熱心の御強かつたかは之でも拜察が出來る次第であります。

北海道で拜謁

それからいろ〱四方山の御物語りをいたしまして御前を退出したのでありますが爾來私は實業界に入るなど拜謁の榮を得ることもなく過しました。ところが明治四十四年の頃であります、私は室蘭の製鋼所の取締役をやつて居りましたが、この時今上陛下は未だ皇太子殿下に亘らせられ北海道行啓でありました。御宿所には製鋼所の社宅が充てられ二晩御滯在であります。ところで御立ちの前晩のことでありました。私どもも陪食の榮を賜はつたのでありますが社長の山內海軍中將、取締役の私、監査役の寺島伯爵など其外澤伯や川村伯など列席いたして居ります。いろ〱の御物語りのありました後雜話となると陛下は特に私を顧みられて『副島先生（先生と御呼びかけになるのです）私が前申した早稻田學習院に教鞭を取つたことを御記憶だからでありましたら』は實に恐懼であつた』と仰せられ當年御所での無禮講沙汰を御話しであります。それに對し山內社長は『それは殿下の御爲めを思つたからでありませう』と取做し顏に御答へ申し上げたのですが、すると陛下には『知つて居るよ』との仰せで、晴れやかに、御笑ひになつたのであります。それから後庭に出で御逍步であります。此の時は暗闇の中を私一人が御案內いたして居りましたのですが陛下はふと御歩みを御とどめになり『副島は今尙國家本位でやるか』との御ことばであります之は前申した私が御所へ參候、御相手いたして居りました頃『國家のため』と稱しては御小言を申し上げた昔を憶ひ出されての事でありますが當時陛下には未だ皇太子殿下ではありますけれども最早中年に亘らせられ御體見といひ御威儀といひ誠に御完成遊ばされて居るのでありますから今此御言を拜した私は實に感激の淚を禁じたのであります。

御惱のおんなやみ

その後は全く拜謁を賜はる事もなくて打ち過ごしましたが、承れば御惱のおんなやみにて國政を親らしたまふ能はず御政務を攝政殿下に御託しになつて居るのでありますが御若年の頃の御精神は今御病中にも折ふし御發現になるとは近侍の者の申すとうで又或る宮內大官から漏れ聞くにさしもの御惱にわたらせられながら一週間に二日三日に必ず普通人の到底企て及ばざる御聰明と申しますか御利發と申しますか、天賦の御稟性を御示しになるとの事であります。私はそれを漏れ承はつて何故通に雲を拂つて天日を見るが如く其の御稟性が三日といはず、四日、五日一週間に亘りて御あらはしになるやう御惱御平癒あらせられぬかとそゞろうらめしくもおもふ次第であります。」

世界的歌手ギャリスン女史 京城の獨唱會
來十五日午後八時から 長谷川町公會堂に於て

入場券 特別券 三圓 普通券 二圓
本社及び本紙各販賣店、市內樂器店で發賣いたします
主催 京城日報社

天氣豫報（十二日）

曇一時晴

溫度		攝	華
十一日	正午	一六、〇	六一、一
十日	最高	一九、八	六七、九

對山錄

人口三十萬足らずの京城で、三千人近くの會衆が華麗の極を擧げた處は新綠匂ふ競馬場、フロック、モーニング、和服、洋服の入り亂れた群を縫ふ內鮮婦人の五彩の衣、朝鮮カラーの濃厚なのが何より嬉しかつた。

◇しかし、斯ういふ會に、一般婦人の參加せぬ例は、もう破つてもいゝ頃だと思ふ。酒の席を厭ふなら、婦人席は別にしてもよいではないか。園遊會ばかりが一般婦人の出る席とは一體誰がきめた。

◇隨分出ずきの奧さん達が、斯ういふ公會を特殊婦人に獨占されてゐるのは、受取れぬ話だ。銀婚の御祝は夫婦揃つて出席するのが當然だ。

◇十日夕の東京は雨で、相合傘の男女が銀婚氣分に浸つたさうな

◇內務司法兩省で決めた治安維持法の解釋を見ると、土地國有とか鐵道國有とかいふ一部の私有財產否認でも、それが共產主義的思想實行の一階梯として論ずるときは、本法に觸れることになつてゐる。こいつは一寸險呑ですぜ。

◇加藤首相、司法官も一般民衆に接觸して、之に親愛信賴の念を起さしめよといふ。接觸はいゝが利權や黨爭に接觸されちや困ります。

◇暴力團の橫行を大目に見てゐやしないかと本紙記者が內務當局にねぢ込む暴力團の橫行は何より取締を要するが、タテに使ふ政黨も取締らねばなるまい。

火焰の舞（二十六）
前田曙山作 小寺耕稷畫

茂兵衞照遠が加茂の大水を渡切つた勇ましい武者振と、夫を甦醒する白粉の媚めいた豐實とが、若い公卿殿上人の花やかな血氣を刺戟して

『茂兵衞さへいみじく仕了せるものを、麿達にもならぬ筈は有るまい。日頃馬術を鍛練するも斯樣な時にこそ』

誰言ひ出すとも無く、破天荒の水馬が提議され、我も〱と同じたので、日頃院の西洞院少將、先頭に、次なるは冷泉新少將、高倉右兵衞督我も〱と小松屋の二階を下りて、轉り落つる大河の流れに、颯と駒を打入れた。

此の日の主人たる竹內式部は堂上方に過ち有つてはならぬと、手に汗握つたが、强て引止めるには餘りに人々の意氣が溢り過ぎて居た。強止め立てして、興を挫いてはならぬと、居すが儘に任して無事を神明に祈るばかりだつた。

幸ひな事には、雛に茂兵衞の水馬の目標が有つて、淺瀨には浪立ち騷ぐので、夫を目的に流れを截して押渡り、無事に對岸へ乘切る事が出來た。

歸路は川を渡さずに、陸路を三條の大橋から、三本木に廻り、再びの酒宴に虹のやうな氣を吐いて散會したが、洛中洛外の噂となり、堂上方に斯樣な英氣の人のみならず、天朝の威光を比叡颪に颺かせ、天の旗を翻して、軟かく飾りかけた武門武士を、足下に踏みしだくは容易い事で有ると町人達は我事のやうに喜び勇み、寄ると觸ると此噂で持ち切つた。

御門は萌え出づる春の草の、奇々たる日光に靡きたまふ御弱冠、御心深く關東の所權を憚らせたまふ處へ、近侍の殿上人が潑溂たる英才であるから、自然此の調子に乘つて、如何なる大事を惹起さぬものでもないと、前の關白一條道香公より、當關白近衞內前公へ密議を遂げ、右大臣九條尙實、內大臣鷹司輔平二公を以て、當今の御嫡母青綺門院を驚かし奉り、御所の叡慮を以て、德大寺、西洞院、宮川三卿の近侍を止めさせる一方、是等の殿上人に無遠慮の處置を講じた竹內式部を、所司代に告發し、吟味を加へる事にした。

時の所司代は智惠伊豆と呼ばれた松平伊豆守信綱の孫にして、右京大夫信高、町奉行は小林伊豫守春鄉、松前筑前守順廣で、式部を白洲へ呼出したのは、翌月の二十八日だつた。

式部は卑怯なる事に立到るは覺悟の前であつた、謀叛の企ての有無は、胸中深く藏して居る處で、何人にも窺ひ知らすべきでは無いが、日の本に生れて、神の御末の九重の上に、一片耿々の忠節を致す者の有る事を、天下に知らしめれば、望外の滿足なのである。

關東公儀に對する叛逆人の吟味といふので、白洲の圍めは嚴重を極めた。諸役人は式部を見る事、謀叛の由井正雪より恐ろしかつたのである。

『其方儀上方の師匠たる身を以て、門下の諸卿と、新三本木の小松屋など申す如何はしき茶屋の家にて酒宴を催し、倚出水見物と稱へて加茂川を乘切りたる由、如何なる心得であるか。』

所司代直々の吟味で有る。返答に詰れば、聊坐に縄を打つべく、同心は目を瞋り、氣を詰めた。

『御咎には及ぶるが、小松屋で酒宴を設めましたるは、唯分秘密腹を樹す迄の事、偶々右の家は俗に茶屋と稱へ、唄奴などを招きまする旅籠にせよ、諸代名方が道中の節、旅籠に飯盛と稱へまする賤しき給仕人を置きまする家にても、他に立寄る家がムりませぬ時には、貴き御方も泊めまするし、又一夜の宿りも求めねば相成りませぬと同様かと存じます。』

式部は冷然として、氷の如く無表情だつた。

本日夕刊四頁

文化マッチ
喫煙家の福音
旅行に 散步に 登山に 家庭に
至極便利なる!!
在來の品と全然異なる獨乙製NTC印
文化マッチ
見本入用 郵券六十錢送れ
大阪市西區江戶堀南通二
發賣元 大江商店貿易部
電話土佐堀一三〇二 振替大阪一三八二六

鳩居堂の
香……は部屋や客間を雅固に
筆……は書きよくて永くもつ
墨……はつやごのよく香もよい
繪具……は色が鮮でのびもよし
硯石 …… 一個三十錢
賣來文房具各種
鳩居堂

月經
特殊流經劑
レスクリン
月經閉止四五ヶ月以內に確實の流經作用を以て容易く安全に應用の目的を達する特殊の效力を有す
大阪市北區曾根崎北二丁目
發賣元 常盤藥院

KSB
ボールベアリング
高級 諸機械用スラストベアリング 各種
農具用特價提供
總發賣元 共立物產株式會社
大阪市東區南本町貳丁目堺筋

船來形ニツケル手附
ハイウチ
見本送料共一打一圓八十錢前金
コーヒ漉 二重網製品 大型重湯濾用 中型及小型 コーヒ紅茶用
だしこし器
本品の御使用は一般家庭の流行です茶袋代用さなり頗る美質であります近來品が如く賣れます
特大、大、中、小、極小の五種
三越、白木屋、高島屋、大丸 其他和洋物金物洋食器店に有
向井商店

強い 安い
大阪ゴム製造所

奉祝に輝く街頭に 悦びの光渦まく
各町の催し物を取圍む大群衆 大京城夜の賑ひ

兩陛下御大婚二十五年の奉祝第一日の京城市は午後に入るとともに一層雜沓し來り、各町催し物の練り歩くこの日の賑ひを見やうとする人々が府廳前から本町一帶に押し掛けて本町通りは人の渦を卷き返し非常な雜沓を呈した、京城府聯合青年團員約五百餘名は午後八時十五分京城府廳構内に集合し、田中府尹團長指揮の下に府廳前に整列兩陛下の萬歳を三唱し本町三丁目を先頭に賑々しく喇叭を吹奏しながら本町通へ入り京電角を右に巴城館本願寺前を通過し各分團毎に總督府廳舍正面に整列となり兩陛下の萬歳を高唱し更に總督官邸政務總監邸に至り萬歳を三唱黄金町通りから南大門通り府廳前に至つて解散したが數丁に亘る蜿蜒たる火龍の列は至る處に見受けられ深夜まで雜踏を極めた

迷ひ子が十人

十日夜京城市内で迷ひ子が多かつた鍾路署に屆け出たものゝみで府内臥龍洞二四崔春植の□□（二）瑞麟洞三四裴昌植□□其外住所姓名の判明せぬ者八名合計十名で目下保護中

第一夜の東京は 奉祝の提灯行列

一日の奉祝は夜に移されたが夜に入つて七時半頃から愈々本降りとなりしになつた、雨後の東京は宮城前から日比谷公園への人出は更に……

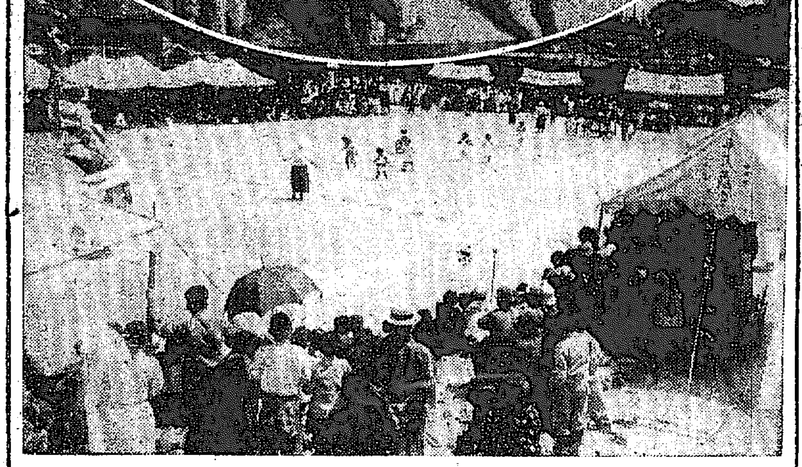
物の盗んで 火を放つ

府民の方留守中に盗賊入し衣類六點（價格百五十圓）を窃取して立去る際證據湮滅の目的で火を放つ……本町四丁目の山賀肉店方に於て……十日に至り犯人として……

イナ州九日發電 亞米利加短距離選手チヤクソン、シヨルツは九日百ヤードを九秒五で走破し世界記録を破つた……

銀婚式 參賀
第二日の大内山

【東京電報】兩陛下の銀婚式典第一日は既報の如く滯りなく盛儀の歡喜に包まれて無事終了したが尚十一日より十三日迄三日間に亘り從一位、勳一等、高等官一等、貴衆兩院議長、副議長、麝香の間、錦鷄の間祗候、侯爵、伯子男爵、奏任官待遇、各宗派管長等數萬人の參賀を受けさせられるのである定刻午後一時から從一位以下貴衆兩院議長各省次官各奏任官各宗派管長等約三千名の文武官其他が二重橋正門又は坂下門乾門から續々と參内し豐明殿に導かれて御祝ひの詞と記帳をなし光榮に浴して退下したが參賀者は三千餘名に達するので午後四時までも引きりなしに續き雨後に増した賑はひを呈した、尚東京市は十日の奉祝の爲め日比谷から二重橋に掛けての人出は七十五萬と註せられたが午後六時迄に混雜で負傷者を受けたもの二十六名、夜に這入つて雨となつた爲め更に多數の負傷者があつた又迷ひ子は六時迄に合計九十四名夜も相當あつた。



【寫眞説明】上は十日夜府廳前を埋めた大群衆と各町の催し物、中は提灯行列、下は十一日奬忠壇の幼稚園の聯合運動會

笑はせたのは 大根の假裝
糞にまみれながら交通整理 奉祝デーの悲喜劇

京城府成婚祝賀以來の人出で賑つた十日夜の本町通りで最も混雜した二丁目のビルヂング附近に働いてゐた一巡査は足場を失つた群衆の府廳を助けるべく丸一呉服店の前の糞溜の堀梃を外して中に飛び込み『サアゐらつしやい』と

雪崩れ かゝつた群衆を一手に受けて勇敢に働いてゐる最中暗がりにあつた糞溜の中にどぶりと飛びこんだが巡査はあはてず上に這ひ上つて下半身糞まみれになつたのも更に構はないで勇敢に『サアゐらつしやい』と元氣よく叫んで働いてゐたのを見て人々は同情と感謝で涙を流したといふ

喜悲劇 そつくりの奉祝だつた、そのどさくさ騒ぎ中片足を失つた者が十數人あつたといへば大袈裟過ぎるが二丁目の交番で拾つた下駄だけで男女合て七個、持主不足分だけである所より察するに負傷が七人以上出た算用になる

電氣仕かけの屋臺

大婚に『銀婚大婚二十五年』とした本町二丁目の屋臺アツサリしたものでは日本赤十字社の粋な提灯電飾……の中にはチヨンマゲの先生も居た、一丁目の青年團員は交通整理に力めてゐたが酷く混雜して通行整理に力めてゐたが背の長らしい男が高い所に踏んげつてゐたのは芝居氣たつぷりだつた

靈覺念寫實驗

來城中の三田光一氏は京城明々新聞主催で來る十六日午後八時から公會堂に於て靈覺念寫の實驗と講演を行ふと

秋田縣湯澤の大火
四百戸を全燒す

【東京電報】十日午後一時半秋田縣雄勝郡湯澤町郵便局向ひから出火し郵便局警察花柳界其他目拔の場所四百戸燒失同七時半鎭火した原因損害死傷の有無取調べ中

二千餘の學生 段執政を襲ふ
兵士と小ぜり合ひを演じ 教育總長邸に押かく

【北京九日發電】北京十九學校の學生二千餘名は赤旗を押し立てゝ執政々府に殺到したが執政不在で一行は段氏の私邸に押しかけ、門前に兵士と小競合が始まつた、一方一部二百名ばかりは教育總長私邸に押し掛けたが此時既に同邸には貸家札がかゝり邸内には巡警が物々しく見張りをしてゐた、學生等は目的貫徹まで同盟休校を宣言した、收監された學生は未だ釋放されない

森戸氏入城す
朝鮮ホテルに一兩日滯在す

森戸事件で知られた現大原社會問題研究所員森戸辰男氏は滿洲地方の講演を終り十一日午前八時京城着朝鮮ホテルに入つたが氏が龍山中學の同窓生中村府外事課長、府龍山……

勝ても負けても 可愛い聲で萬歳
千三百の園兒大喜びの 幼稚園聯合運動會

南山府子幼稚園主催の聖上皇后御大婚二十五年記念府内幼稚園聯合運動會は十一日午前十時から奬忠壇廣場なる同園に於て行はれた、參加學校は京城、子寧、和光、鍾路、龍山、甲子、朝鮮、三光、庚子の九幼稚園兒一千三百餘名、各園の父兄多數參列した宏壯なる式典の後に快い奏樂に伴ひ入場式を擧げた後引續いて長尾内務局長夫人の挨拶を述べ國歌『君が代』の二回唱和あり、十時四十分から各幼稚園のスプーンレース徒歩競爭、球送り、鬼ごつこ、ダルマ送り球拾ひ等二十四種の競技があり純眞な園兒たちは懸命に勝ちを爭ひ、愛兒の出場する度に觀覽席から拍手と歡聲が送られ、午後一時半非常な盛況の裡に散會した、因に下岡政務總監夫人から參加各園兒に綺麗なリボン附煎餅を寄贈した

東大勝つ
對京大漕艇戰

【東京電報】東西兩大學第六回對抗ボートレースは銀婚の佳節を卜して十日戸田川に擧行し東大は又も一艇身の差で勝利した

山梨陸相……と共に……前田氏は十三日……される筈である

前田利爲侯
十三日入城

陸軍大學教官として同大學生と共に滿鮮旅行中の前田侯爵は途中一行に別れ十三日午前九時四十分京城驛着の由、因に加越能郷友會では御着當日午後四時半撤退通り食道園で歡迎會を催す由、出席希望の向は太平町府廳地方行政會へ申込まれたしと

一粒選りの 名選手揃ひ
參加申込を締切つた 本社主催女子庭球選手權大會

本社主催第一回全鮮女子庭球選手權大會は十日を以て參加選手の申込を締切つた。今回の大會は既報の通り女子庭球の一般化とその向上を目的とした最初の試みであつたが、全鮮の各女學校を始め一般からも隱れたる選手が現れ、續々て申込があつた。唯遺憾なことには市内三四の宗教關係の女學校が日曜の爲めに出場不可能となつたことである。その他の各女學校は今春卒業生を出したため、昨秋の女學生庭球大會に活躍した首腦部を失つた學校も少くないが、新進氣鋭の選手が代つて出場する。地方では仁川高女が生徒修學旅行の爲め不參加となり、平壤高女も都合上不參加となつたが、元山、大田等の女學校が參加し、一般婦人としては仁川郵便局や理容等から選徒の申込みがあつた。今回の大會は個人戰として選手權を爭ふため、何れも粒より選を選み、既に全鮮に於ける女子庭球界最初の覇權を握らんとする一粒選りの名選手揃ひである。參加申込は左の二十五組であるが、本社では嚴正中立の上一兩日中に公平なる組合せを行ひ直に發表する筈である

出場選手

京城第二高女	澤田雪子・龍田千子
京城第二高女	末松昌子・戸田道子
京城第二高女	兒山幸子・李順南
京城第二高女	相川操子・高城房子
大田高女	末吉秀子・島谷三地子
京城第二高女	渡邊とわ・松永一枝
大田高女	須々木靜惠・古田キミ子
元山高女	浦口澄江・池田愛子
元山高女	弘津敏子・松田愛子
元山高女	戸井千惠・中島豐子
仁川郵便局	松田朝子・鷹藤モモ子
京城高普女	金順用・尹貞姫
京城高普女	尹文姫・鄭今順
京城高普女	閔威得・洪淳文
京城師範演習科	中野□子・明田□子
仁川郵便局	吉岡チヨ・相良マサコ
京城第一高女	山田文子・藤生梅子
京城第一高女	安部雪子・小田智惠子
京城第一高女	坪川愛子・高山美鶴子
京城第一高女	島田八重子・堤□子
龍山俱樂部	原田政江・西村定子
京城第一高女	小川晴子・小川文子
平壤	山口繁子・中川ヒサノ
龍山	金玉順・尹英熙
龍山	小森千鶴子・末木フミ子

佛艦に遠征
武道大家連が けふ仁川沖の艦上で 『ジユージユツ』を見せる

十日の歡迎觀艦の觀客の素人相撲を見物した仁川入港中の佛國ジユールフエリーの司令官フロース中將閣下の朝官連からの申込で平山政十氏が斡旋し京城市内の劍道方面の人々を誘いて北山四段、鎖田三段等を始め柔道級の若武者と少年組の猛者二十名を引連れて十一日ジユールフエリーの艦上に押しかけることゝなつた。一方仁川からは柔道の猛者が同じく同艦を訪れ、乘組員が憧れて居る日本の『ジユージユツ』を見せると言ふ次第である。劍道は佛國の劍道と彼我の技を爭ふといふ意味で先方では乘員中の劍士を出し劍と竹刀で試合を試みるのである。この試合は午後三時から始まるのであるが、同艦では『日本武士道の精華たる劍道と柔道が見られる』といつて乘組員一同無性に嬉しがつて居る。

帝劇で亂暴
只で見せろと 住所不定の鮮人が

【東京電報】十日午後六時頃住所不定の鮮人金某（二〇）は帝劇に來り今日は銀婚式だから無料で觀覽させよと迫り拒絶されて憤慨し場内に亂入して暴行を企て日比谷署から警官出張取押へ嚴重取調べた結果計畫的の行動でない事だけ判明したが尚引續き取調べ中

デ盃戰開始
伊太利勝つ

【リスボン九日發電】デビイスカップ爭奪庭球聯盟歐洲ゾオンは第一回戰伊太利對葡萄牙の試合を以つて本年度の幕は切つて落され伊太利は單試合、複試合共第二回戰出場の資格を得た。

フランス勝つ 【巴里九日發電】デビスカップ歐洲ゾオン佛蘭西對ハンガリー第一回戰は九日巴里で擧行され佛蘭西チームの勝利に歸した

運動界
教員野球大會 十三日から開始

京城公立小學校教員會主催の教員野球大會は十三日から十七日まで二回に亘り南大門校庭で擧行するが參加學校は三坂、日出、元町、南大門、西大門、鍾路、櫻井、東大門、南山、龍山の十校である。試合日割番組は左の通り

▲十三日午後四時半から元町對南大門（南大門校にて）

▲同十三日午後四時半から南山對龍山（場所未定）

▲十五日午後四時半から三坂對日出

▲十六日午後二時から元町南大門勝組對西大門

▲同日午後四時半から鍾路對櫻井

▲十七日午前十時から東大門對南山龍山勝組

▲同日午後一時から二勝者決戰

▲同日午後三時半から二勝者決戰

▲十七日午後二時半から優勝戰

映寫幕

大正館（十二日から上映）▲猛獸活劇『一度怒らば』全五卷 ▲時代活劇『お役者地獄』總籠 柳さく子主演 ▲連續活劇『人間征服』全三卷 ▲實寫『□□』

中央館（十二日から上映）▲實寫『自然界の提案』一卷 ▲現代劇『京之助の娘』五卷 高田稔主演 ▲活劇『シヤロツクホルムス』九卷 ▲元祿時代劇『三人姉妹』中篇七卷

喜樂館（十二日より上映）▲實寫『我海軍の威力』▲映畫劇『弱き者男よ』六卷 島田愛子共演 ▲日活『殿堂女王』ルスローランシ孃主演 ▲時代劇『坂崎出羽守』十卷 ▲寫眞『育兒の孤兒』

株式各種名義書換停止公告
來ル大正十四年五月十三日ヨリ會社臨時株主總會終了ノ日迄株式名義書換ヲ停止ス
朝鮮勸業信託株式會社

加越能郷友諸君ニ告ク
今回舊藩主前田侯爵閣下御入城ニ付歡迎會開催候間當日ハ可成多數御出席相成度此段御通知申上候
追而侯爵閣下ハ來ル十三日午前九時四十分京城驛着ニ付御出迎相成度候
一、會場 南大門通食道園
一、日時 五月十三日午後四時半
一、會費 一圓五十錢
一、申込所 京城太平町府廳内（加越能郷友會）電話本局九七三

工事請負入札公告
一、工事名 一、三等道路上里三水線三南面南渓里川坪里地内局部改修工事 二、二等道路新安州咸興線定平郡高山面地内橋梁架設工事
一、契約條項ヲ示ス場所 咸鏡南道内務部會計課
一、入札場所 同所
一、入札及開札時 大正十四年五月二十日午前十一時入札開札
一、保證金 入札見積金額ノ百分ノ五以上
一、資格 大正十一年六月二日朝鮮總督府令第九十六號ノ資格證明アル者
右公告ス
大正十四年五月七日 咸鏡南道

化學應用 金もうけ
資本の大小を問ハス僅少の力を利用して……東京市芝坂……株式會社 製造化學通信學校

愈々御旅行季になりました 御用意は是非弊店にて御願いたします
各種 旅行鞄 毛布 夜具入
小ゴム靴 長靴 短靴 皮靴各種 メリケン靴
京城本町二丁目九一 中村旅行具店 電話本局二八〇一番

新案特許 特價表無代進呈 東京市神田……

品質優良
矢千代サイダー
金剛サイダー
かすみシトロン
矢千代シトロン
白十字葡萄酒
平壤本町 朝鮮飲料合資會社

蠟でともす特許便利燈
燈界の一大革命
電氣でも瓦斯でも油でも蠟燭でもない眞の革命燈

自轉車用燈
明るくて經濟で危險が絶體にない
自動車工場完備と多量生產は東洋第一位
滿鮮各地一道一店の割に信用確實な特約店及代理店を募集す 近日本社宣傳部員を派遣す 希望者は至急左記宛照會
自轉車用 手提用 信號用 軍用 釣ランプ 支那向 各種
陸軍御用 鐵道御用 北海道御用
東京市外北品川町五五四 株式會社 便利燈商會

朝鮮料理元祖 明月館大擴張
時下益々御清榮之段奉賀候陳者弊館ハ開業以來……

朝鮮料理元祖 明月館本店 京城府敦義洞一四五番地 電話光化門六四番・八六二番
朝鮮料理元祖 明月館支店 京城府瑞麟洞一三七番地 電話光化門七一五番・一七一番

各地の奉祝

旗行列に提灯行列 歡呼の裡に夜を徹す

元山 絶好の奉祝日和午前八時轟々しくも打出す大砲の響きと共に先づ元山神社に於て祝賀なる奉祝式典を執行し、ついで府廳を始め各學校に於て御影遙拜式あり、正午府公會堂に於いて官民合同一大祝賀會あり、府尹の奉祝の辭に亦萬歲を三唱し散會、後は一般の餘興あり……市内各商店の假裝行列等は……市中を練り廻り……市民の歡呼の聲は擧つて……

大邱 兩陛下の銀婚式を奉祝する十日の大邱府内は午前十時から小學校、普通學校生徒の旗行列に始まり、奉祝大會は正午から公會堂に開催された、集まるもの無慮二千名、宮崎府尹の式辭朗讀、知事の祝辭にて兩陛下の萬歲を三唱し、當日全市擧つて國旗を掲げ、大邱神社を始め各町の假裝行列等あり、非常の盛況を呈した

大田 既報の通り大田に於ける銀婚式奉祝は市内は國旗、軒燈を掲げ各町思ひ〳〵の裝飾をなし午前十時各學校生徒並に男子小學生の旗行列あり八時より同男生徒並に一般市民の提灯行列を行つたが旗の波、火の波に全市空前の盛況を呈した

鎭南浦 鎭南浦府に於ける十日の銀婚式祝賀では府廳は午前九時半から十時半まで御眞影を奉置して一般に拜賀せしめ午後零時から府廳前廣場で澤永府尹より町總代の高齡者四名に木盃及酒肴料の贈呈式を行ひ引續き府民の祝賀會に入り澤永府尹の奉祝辭に次

金浦 金浦郡に於ては十日郡民に入り酒の寄贈で天皇、皇后兩陛下の萬歲を三唱し散會し、市中は各戶に國旗を掲揚し夜は提灯行列を行ひ奉祝の意を表した

開城 開城公立小學校にては十日午前九時より新築校舍樓上の……式場にて擧行官民多數の參列……當日餘興として大弓競技相撲等あり……

光州 光州に於ては……

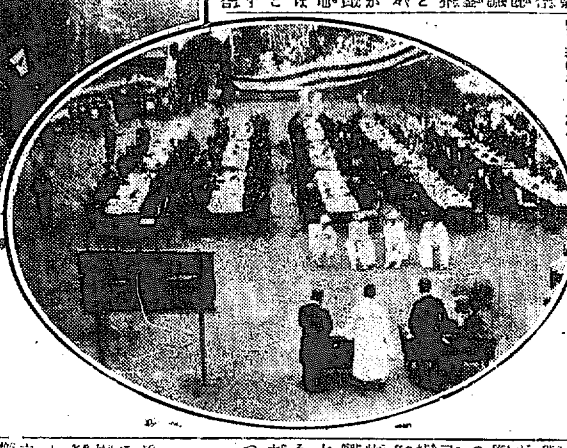
間島 銀婚の御儀を慶祝し……

木浦 絶好の祝賀日和十一時より公會堂にて官民祝賀會あり……

清津 十日午前十一時清津神社にて奉祝祭典執行正午より……

平澤 平澤尋常小學校に在鄕軍人會擴張分會に於ては十日午前八時より……

(寫眞說明) 鎭南浦の奉祝塔と鎭南浦府廳前廣場で擧行された銀婚式祝賀會



第二回西部職業紹介 人事相談所聯合會

廿九卅日釜山て開催

【釜山】内鮮人の失業ならびに勞働問題等の連絡をはかりその救濟を門司市に開催して事業遂行上得る處極めて顯著なものがあつた事實に鑑み釜山において此催しは一般懇まれざる鮮人勞働階級の人々にとつては何等かの福音を齎すことあるは素より一般にも多大の期待を擁はれつゝある

職業紹介事業の安定を與へ相互間における人事相談及紹介事業の安全を期する爲めに北九州方面における人事相談職業紹介業者と釜山における同業者とが相提携して來客釜山に聯合大會を開催する計畫あることは既報の通りであつたが愈々兩者の間に解成り來る二十九、三十の兩日釜山府において第二回西部職業紹介人事相談所聯合會を開くることに決定し目下兩地當局間では夫々打合せこれが準備を進めてゐるが出席者は福岡山口兩縣下から會員三十餘名それに大阪からは大阪地方職業紹介所事務局長本府からは富永社會課長その他京城以南のこの種社會事業に當る人々を臨場する豫定である

清津羅南聯合 消防大演習

十六日と決定

【清津】既報清津、羅南兩消防組の聯合演習は愈々纏まり來る十六日を以て清津第三期埋立地に擧行される、當日は午前七時先づ清津消防組百五十名が、埋立地土木部出張所前廣場に集合、羅南組五十名の十時到着を待ち、合同にて十時半より各種の演技及び器具點檢を行ひ十二時終了消防手は鐵道病院裏の高臺にて辨當をすませ、午後三時よりは清津座に清津、羅南官民有志と共に一大祝宴を張る段取であるが參加消防機は清津側腕用ポンプ三臺、自動ポンプ一臺、ガソリンポンプ一臺で、羅南側はガソリン一臺、腕用二臺である、當日は統裁として野田警察部長が臨場し、其他保安課長を臨へて出動し、

元山商議 補缺戰

六月一日擧行

【元山】既報元山學校組合議員の補缺選擧は、愈々來る六月一日擧行の事となり、僅に二個を剩すのみの後に迫つたが、目下銀婚式奉祝やら續いて來る二十三日の學校記念祭など、お祭り氣分に浮かれ氣味と多忙なのとで未だに名乘りを擧げた者も無く、暗中模索の狀態を續けて居るが、或は意外の方面から出馬する者へあるらしく、或は意外の大混戰を見るかも知れない何時もの各商議選擧に當つて常に陣を布く公友倶樂部に在つても今回は未だ鳴を靜めて形勢を觀望しつゝある模樣なるが既に公認候補者の人選は内定して居るらしく形勢次第にては直ちに噸を師噸に進める範略らしく、恐に角如何なる方面から如何なる人物が乘り出ずかは一般から一種の興味を以て見られて居る

火田民に 栗の栽培獎勵

成績頗る良好

【平壤】平安南道に居住せる火田民は實に十一萬人を超へて居るが整理は總督府の多年の懸案であり未だに徹底的な整理を遂行する事が出來得ない問題であるので平南道當局に於ても消極的な方策をとり部分的な整理を遂行して可及的速かに生業に就かしめる可く努力して居るが生來の懶惰と生活の安易が深くしみ込んでいる爲め生業に就て一定の土地に土着する者尠く爲に整理の効果は期せられない狀態であるが成川郡の火田民の一部が數年前栗を植栽した處昨秋の收穫時期の成績が豫想外に良好であつた爲め同郡の火田民は競つて自己の持山に栗を植樹し或は他人の持山を借受けて栗を植栽する者も多數現出して來たので道當局では此機運を助長し一面火田の整理を實行すると俱に他面に於て平壤栗七萬石增收計畫の實行に歩を進める爲め近く火田民の栗植栽に對し大規模な獎勵方法を講ずる事となつた

海州神社祭典

【海州】九日は海州神社の前日祭で神輿の渡御があるので午前十時には道知事代理として石本警察部長の參拜あり式後神輿は三十有餘名の若衆が之を擔して社内を練出し神饌を先頭に猿田彦等之に隨ひ六十一名より成れる小學校生徒の樽神輿も之に追從し途中滯りなく御假屋に鎭安した市内本町筋は數ケ所に人形又は生花造花等の飾物あり夜間は鐵路辻の前と北本町の中頃に八百有餘の花電氣を點じ舞戶は御神燈を吊して點火し恰も火の海の樣に彩られ神社境内よりは十數發の煙火打揚ぐる等御祭禮を賑はしく盛裝した

演藝案内

喜樂館 電本五九七 日活直營 ◎當る五月六日封切大興行 ◎寶塚舞踊 美人踊 ◎滑稽 隣の同志 ユニバーサル特作大映畫 シートギブソン氏主演 ▲西部大活劇 生氣躍潮 全六卷 日活京都派 第一部巨作品 松之助 吉十郎、澤村春子、尾上桃華 主演 ▲時代劇 **怪力八郎** 全六卷

黄金館 帝キネ共營 毎日畫夜 ▲日活京都派新劇部大作品 リリアン・ジユーシー女史原作 浦邊粂子 高木英二 吉田豐作 主演 ▲大悲劇 **生死を越えて** 全七卷 中村吉次 高木桝二郎 市川春衞 助演 帝キネ直營五月六日封切超特別大興行 實寫 ゴーモン週報 一卷 米國ユニバーサル社 サンシヤイン 喜劇 天下一品 全二卷 メリー・サンミリー孃主演 帝キネ芦屋撮影所大作品 現代劇 **岐路に立ちて** 全六卷 鐵道省認定社會大教訓劇 大活劇 **信號塔** 全七卷 ユニバーサル・ジウエル大傑作映畫 帝國キネマ小阪撮影所大特作品 時代大國爭大亂闘謎の怪物 怪奇劇 **神出鬼沒** 全七卷 市川百々之助 阪東豐好力 助演

大正館 松竹共營 日夜 五月十二日より特別大公開 實寫 拳鬪選手浦田訪問 ◎松竹蒲田特別映畫 猛鬪活劇 一度怒らば 葛見丈夫 全五卷 百獸の王ライオン能數百頭出演 猛獸押本映二大活躍 外數名 猛獸活劇 **人間征伐** 全三卷 下加茂特作連續映畫 監督野村芳亭氏 終篇 **お傳地獄** 完結 柳咲子 森野五郎 志賀靖郎 共演 蒲田超特作大雄篇 監督池田義信氏 德富先生不朽の名作 大悲劇 **不如歸** **浪子** 全六卷 栗島すみ子 岩田祐吉 主演

中央館 東亞キネマ マキノキネマ 當る五月十二日より特別興行 實寫 東亞キネマ製作 自然界の採集 一卷 甲陽特作映畫(劇中劇は凋艶無比) 現代劇 **京之助の娘** 五卷 マキノ・環歌子 高田稔 主演 マキノ等持院特作大剃運劇 元祿遊聞 **三人姉妹** 七卷 マキノ輝子 (三役) 妻三郎 龍之助 大活躍

浪花館 明治町 電本二六〇 五月九日より 桃中軒雲右衛門 大一座來る 桃中軒巴石 (演題と出演) 武士道 桃中軒 雲 忍 小伴 國家心 佐倉 宗吾 探偵 ……

はなぐすり 長壽園 ニツマスイ 淋病 ▲睡淋 セキ ▲心配するな 初發 リウマチス …… 出血 ……

男女 毛深き方 新手取法 脱毛劑 濃い頰髯、髭、手足へ生えた毛の毛深い方が此の劑をぬれば一時に一皮へ一玉のお肌になり 痛苦は少しもなく 毛の根が全く除くる 說明書無料 四圓二十錢 送料二十錢 東京芝區…… 四半用五一 ……

キリベール ハリも早メキ キ キ 病んりキ ☆うみもいたみも 三五日でとまる 確實

惡性用特製 五日分二圓 十日分三圓五十錢 輕症用 五日分壹圓 十日分貳圓 大阪市東區……竹村製劑所 藥劑師 竹村幸次郎 振替大阪……全國到る處藥店にあり

十二日ヨリ 特別公開 大マキノにして始めてこの大時代映畫あり!! 滿員又滿員の大好評裡に中篇上映

三人姉妹

妻三郎得意の猛鬪愈々開始、怪美男子の出現と事件の意外なる發展 環歌子、高田稔 主演 京之助の娘 甲陽作品(劇中劇は凋艶無比) 東亞直營 中央館

猛鬪活劇 當る十二日より 萬人期待の名篇愈々公開 ○猛獸活劇 人間征伐 三卷 人類猿ライオン能數百頭出演 **一度怒れば** 全五卷 松竹蒲田特作葛見丈夫氏監督 猛優押本映二岡田宗太郎千草みどり共演 **お傳地獄** 完結篇 下加茂特作野村芳亭氏監督柳咲子主演 見よ!悪鬼と狂ひし妖婦お傳が最後の如何に悲慘なるかを! 大悲劇 (不如歸) 德富先生不朽の名作 蒲田超特作大雄篇、監督池田義信 **不如歸 浪子** 六卷 栗島澄子、岩田祐吉共演 松竹共營 大正館

開業壹週年記念 五月八日より五月十二日まで五日間 貳割引 平壤 鄕町 カフエー、スター 電話九五五番

蜂印香竄葡萄酒

サア乾杯しませう アナタの……御健康を祝して ワン――ツ――スリー さア乾杯しませう アナタの豐麗な肉體と 更生の健康を創造した蜂ブドー酒に依つて――さア乾杯しませう さらにアナタの永遠の青春を祝して……

おいしく……召し上つてゐる中におからだ……が御丈夫になります

總發賣元 近藤利兵衛商店

女のはらにカタマリの病 卵巢子宮血の道月經閉止カタマリできた人手術に非ず良藥あり 圖會次第詳報 神戸兵庫西代停留東黑齒室

天辰齒科醫院 東京齒科醫學士 天辰親夫 仁川本町三丁目 電話九六八番

急性慢性貧血病、小兒發育不全 虛弱、羸瘦者等に卓効ある 正しき補血強壯增進劑 單味 ブルトーゼ 小瓶 半月分 金二圓 大瓶 一月分 金三圓 ブルトーゼは人體肝臟等に豐富に藏せらるゝ造血要素と同一物なるが故に吸收速かにして血球新生機を刺戟し造血作用を增進せしめ又一般組織の發育及代謝機能を亢進せしむるのみならず食慾を進め筋力を強實にし精力を旺盛ならしむ殊に其の味芳香美甘にして服用久しきに涉るも絶對副作用なく老幼婦人も極めて快く服用し得らる是即ち醫學諸大家が等しく推奬せらるゝところにして補血強壯劑として優れたる類似品なき所以なり。 賣捌 各地藥店 武明會進呈 大阪市東區道修町二丁目 藤澤友吉商店 東京日本橋本町 京城本町 支店

EAGLE BRAND GAIL BORDEN 内容充實 ワシはミルクの王 煉乳に關する冊子進呈す ワシ印ミルクは他品と格段の相違ある優良品であります。故に同じ煉乳の一罐でもワシ印は他品に比してその内容が遙かに充實してゐます。これは實にワシ印使用家の等しく認められる事實であります。 神戸三宮郵便私書函四一七 M-24

仁俠講演 國定忠次 〔三十六〕

梧遊軒圓玉演　濱田如洗畫

八五郎受合ふ

おまんは先んずれば人を制し先んぜられゝば人に制せられると古人も云つてゐるから、匙は八五郎の先を行くがよいと考へた まん「親分何れ兩三日中に勝六さんがお前さんの所へ行くでせうが、その行く理由は斯う云ふ事なんですよ 八「どんな事だな まん「あの此所にゐるとのお嬢樣は相生の主右衞門樣の一人娘でお花さんと申します。此方にゐるは実の親父とは勘樣に當る、江戶神田の紺屋町太田屋樣と云ふお醫者樣の御子息で勝吉さんと申します 八「何だ、そんな壞い話聞きだなそれから何うした まん「何だね親分默つて聞いて下さいよ、聞に口を入れないで

今度些と勝吉さんが道樂をしたに就て勘定になり、こんな草深い所へ預ねて來ました親類ではあるし年若い内には有勝ちな事と別段意見もせず許に置いて世話をしてゐました、所がこの老花さんの阿父さんに勝吉さんが行つてゐる間にまアお花さんと出來たんですね 八「ウームなる程 まん「所がお花さんには須永の若旦那が許嫁で近い内に婚禮をすると云ふが何處までも夫婦になつて苦勞したいと云ふが樂しみで親の所へ逃げて來たんですよ、すると勝六さんが何處から嗅を聞いたか、訪ねて來て旦那にお花は渡して貰ひたいとまア野暮な人があつたもので嫁はれた娘を伴れて行つて何うするつもりと意見したが肯入れず何でも此方にゐるから家探しをして伴れて行くと騒ぎ立てゝずア親分のやうでしたよ若い者が腹を立て

特約販賣所 硫安 ナフタリン（球状・粉末） 三國商會 電光三九二

若旦那を突出して了つたがあゝ云ふ諦め切りの悪い人ですから何うしてもお花さんを取戻さなければならないそれを取戻すには親分の好い親分を頼まなければなるまい、とそこで二三日の内にお前さんの所へ頼みに行きませう、どうぞその時はこんな女出入に口を喋くやうな儚ぢやアねえと斷つておくんなさいまし、親分の事だからこんな小さい事は引受けなさるまいが頼まれて見れば否とは云へない場合もございませう、然し親の一生のお願ひでございますからキッパリ斷つておくんなさいねえ親分と八五郎は自分が云はうと思つた事をおまんに云はれて、ハテ何うしたら宜からうと頻りに考へてゐる おまんは内心、この老耄大分困つてゐるなと悟つたが、そんな事は色にも見せず まん「ねエ親分、今も御願ひ申した通り、須永の若旦那が來たならば純あ深溝の八五郎だ喧嘩の仲裁ならば口も利かうがこんな事に口を嘴く程耄碌はしねえとはね付けてやつておくんなさい、お頼み申しますよ 八「ウーム……」と思はず承知した、ウーム……と揶揄られて云つた、おまんは可笑しさをグッと嚙殺して まん「何うしたの親分、呻吟つてゐるぢやアありませんか……」八「何に勝負の加減で……どうも年を老ると太儀で困る まん「一寸勝吉さん、お花さんからも親分にお願ひ申して 勝「宜い」云はれて勝吉が、勇、「初めてお目にかゝります、私が大吉田勝吉でございます、唯今姉御が申しました如く何卒この事お願ひ申します 八、ウーム承知した 勇、お花さん、お前さんもお願ひするがいゝ 花「どうぞ親分、二人が夫婦になれますやうお願ひ申します」と勝手を突いて頼む、八五郎も三方から斯う云はれては困つて了つた、今更俺は知らぬと云つて斷る事もならず又その事で來たとも云へず迷ひに惱む然し成行にもせよ一旦承知したと受合つた上は此を打消す事も出來ない、云はれるまゝに承知をしたおまんはニユくと笑ひながら まん「親分が承知してくれたので安心しましたオイお龍は何うしたの」とまづ話が一通り濟んだ後子分に吩咐て酒肴を取り寄せました。

全鮮一技術 寫眞 三割引 軍人學生半額 鮮銀前 エム寫眞館

通信教授 バイオリン尺八 マンドリン及ハーモニカ年三味線 以上各別規則書進呈す(郵券封入) 福岡市中島七〇 大日本家庭音樂會

陸大生戰跡視察

陸軍大學校長和田龜治中將の引率せる陸大生七十名の將校が日淸日露兩戰役戰跡觀察の爲め十四日來新の豫定であるが一行中には賀陽宮殿下も御同行遊ばされる筈である日程は安東に一泊の上鐵路馬車にて九連城に至りそれより鴨綠江を渡河して統軍亭を觀察し多田榮吉氏の旨賜のプロペラー船其他で下航し附近の觀察をするものである(新義州)

素人淨瑠璃會

淸州美那登會員の催しで素人淨瑠璃會を八日夜櫻座に於て開演したが品質遊戲々詰かけ中々の大入であった

◎國東中學生一行　大分縣立國東中學四年生一行約七十名の鮮滿視察團は十日朝釜山に上陸し途中京城、新義州長春を經由大連に廻る豫定である(釜山)

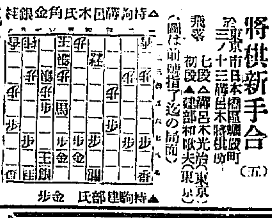
將棋新手合（五）

於東京市日本橋區蠣殼町三ノ十三將棋會館

飛落　七段△溝呂木光治(東京)　初段▲建部和歌夫(東京)

(圖は前號指了迄の局面)

△持駒溝呂木氏 角金銀桂



▲持駒建部氏 歩金

△七二玉▲七四歩△六四銀▲四三馬△六五角▲同馬△同銀▲五五角△六四角▲一一角△七六銀打▲五九金打△一九龍▲六六香（以下次號）

五月十三日

（舊曆四月二十一日）▲水曜▲一白▲暗劍北方▲丁酉▲赤口▲定▲軫宿

▼一白▲蹉跌のない日他人の言葉を信ずると損する坤と艮と甲が吉
▼二黑▲目上の人と意見の合はぬ事がある探目が吉坤と庚と丙が吉
▼三碧▲好調の日忠言に事に當らば成功間違なし艮と壬と巽が吉
▼四綠▲勝負大勝に觸出して有利憤ると損を招く丙と巽と壬が吉
▼五黃▲念入にしても事の破れ易い日失物盜難注意巽と坤と丙が吉
▼六白▲損に比べて利が多い萬事元氣よく進んで吉東と乾と坤が吉
▼七赤▲身の程を辨へて進退せば思はぬ利益となる東と乾と壬が吉
▼八白▲小事に妨げられてはならぬ大取引は日々吉巽と坤と丙が吉
▼九紫▲心掛け次第では凶より吉に轉ずる日交際注意丙と艮と乙が吉

對獨問題に關する英佛協定成立か

[illegible]

株式界週觀 週初高週末安

[illegible]

鎭南浦 朝鮮商工株式會社 川添種一郎

鎭南浦 富田合資會社 富田儀作

鎭南浦 西崎鶴太郎

奉祝銀婚式

平壤櫻町三番地 朝鮮商工株式會社
支店 鎭南浦三和町 京城長谷川町
出張所 仁川濱町 大同郡寺洞

平壤府尹 松井信助

淸州師範學校長 川上新之助

淸州高等普通學校長 吉野久次

淸州農業學校長 川口得知

淸州小學校長 服部富枝

淸州普通學校長 有村淸太郎

鎭南浦商業會議所會頭 鈴木種一

大田電氣會社 淸州出張所

淸安驛 淸安穀物協會

淸州榮町 道評議員 川島由三郎

淸安驛前 貿易 土井千里

淸安驛 米穀商 橫山虎三郎

淸州本町二丁目 和洋料理仕出し 都屋

曾坪面事務所 李容載

淸州警察署長 小山定雄

鎭南浦 朝鮮鐵山株式會社 支店

鎭南浦 南浦活版所 野田良二

鎭南浦承認運送店組合 伊丹運送店 朝日組支店 大和組 南浦組 丸五運送店

鎭南浦商業會議所副會頭 重枝大索

原料香水 オリヂナル

まあ、、、、

何と云ふ床しい薫りでせう……各國高貴の花液卅八種が生々と融和せられてをりますオリヂナルの心地よい薫りに接した時のあなたの御愉快…… 御滿足は…… どんなでせうか…… わけても普通香水に比べて卅倍の濃度を有してをりますから……

定價 小瓶 ¥0.50 中瓶 ¥1.00 大瓶 ¥2.00 特大瓶 ¥4.00

全國小間物化粧品店、藥店にて販賣致して居ります

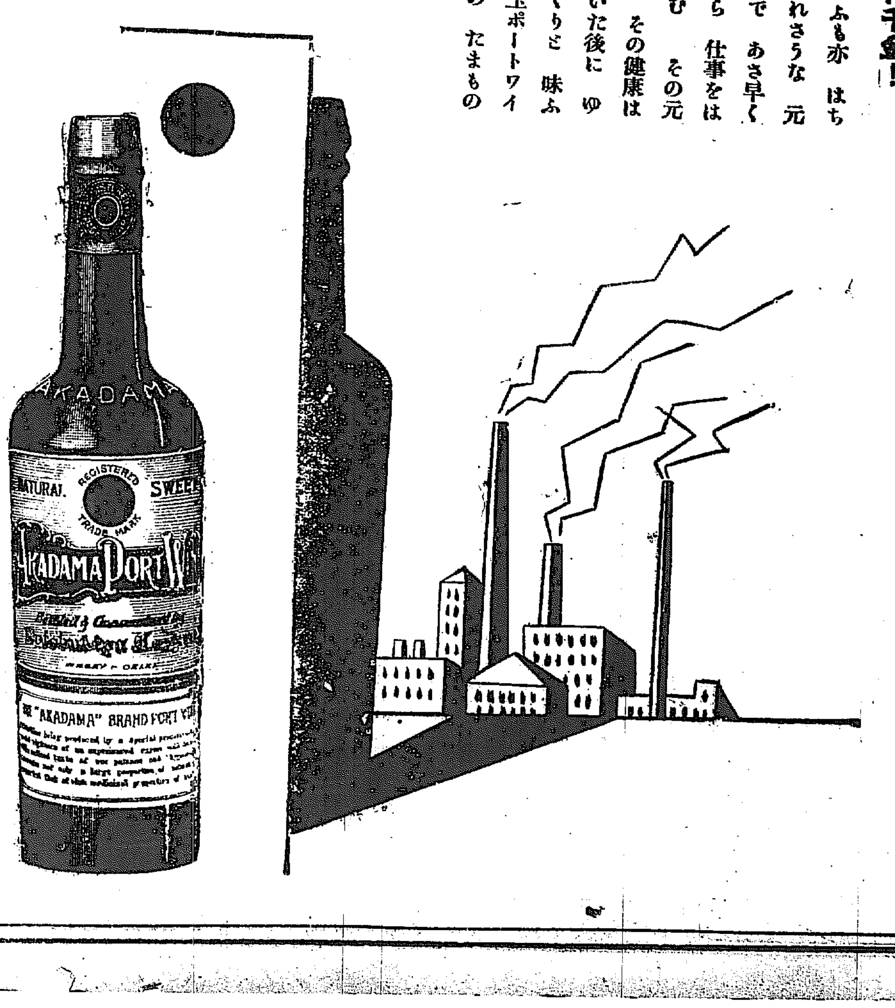
本舖 製造 安藤井筒堂 東京日本橋區[illegible]

學校の成績は頭が第一である頭のボンヤリした時◆頭のクシャ〳〵して學課の進まぬ時◆帽子印荒川

ノーシン

をタッタ一服のんでごらん！ノーシンは森田資孝博士御推奬の頭痛卽効藥で忽ち頭ははつきりし面白い程勉强が出來る

赤玉ポートワイン

一杯千金！

けふも赤はちきれさうな元氣で あさ早くから 仕事をはげむ その元氣 その健康は 働いた後に ゆつくりと 味ふ 赤玉ポートワインの たまもの